

仕様書 4（海外における販路開拓活動）

1 事業名

フランス食品展示会（SIAL Paris 2024）におけるコメ・コメ関連食品プロモーション・商談の実施

2 事業目的

イタリア・スペインの干ばつの影響と円安の影響で日本産米の輸出が倍増している欧州において、食品関係者により広く日本産コメ・コメ関連食品の魅力を伝え、需要拡大を図ることを目的として、フランスで開催される SIAL Paris 2024 に参加する。

3 前提条件

- （1）対象国・地域： フランス（パリ）
- （2）対象品目：コメ、パックご飯、米粉・米粉製品、米菓、日本酒
- （3）企画提案書の作成に当たっては以下の通りとする。
 - ・企画提案書は A4 縦で 4 枚以内とする。
 - ・費用概算がわかるよう、積算内訳を作成すること。

4 事業内容

農林水産物・食品輸出支援プラットフォームと連携を図りながら以下の取組を実施すること。

- （1）フランス食品展示会（SIAL Paris 2024）への出展
 - ① 展示会に参加する全米輸会員の出展ブースの設営、運営、管理を行うこと。また、設営にあたっては、他の品目団体と調和がとれたものとする。
 - ② SIAL Paris 2024 の開催内容を理解し、成約率が高まる最良な商談方法を提案すること（例：展示会への個別のバイヤー招聘など）。
 - ③ 参加する全米輸会員の出展商品が現地バイヤー等に正しく理解されるよう、工夫すること。

(2) 商談会の実施

- ① 展示会とは別途、商談会を開催すること。
- ② 実施にあたっては、成約率が高まる最良な方法（バイヤー等を招聘する、バイヤー等へ訪問する等）を提案すること。
- ③ 展示会開催前に参加会員向けに、現地情報等のセミナーを行い、展示会の期間に行う商談が着実に成果に結びつくようにすること。
- ④ 必要に応じ、商談会において参加バイヤー向けのセミナー・商品紹介等を実施すること。なお、セミナーを実施する場合は、参加バイヤーのニーズに合わせた内容とすること。
- ⑤ 商談会では、1会員当たり、6社程度と商談が行えるように工夫すること。また、必要に応じて、追加の個別商談等を実施すること。
- ⑥ 商談フォロー：後日の商談結果（成立、不成立、課題の確認等）をフォローする。

(3) 実施時期：2024年10月19日～10月23日＋商談1日

(4) 日本側参加者：会員13社を想定、7泊程度を想定する。

(5) 事業実施後のアンケートを実施する。

- ・参加会員及び商談に参加したバイヤー等へ商談結果（見込み金額等）、課題、感想等について聞き取りを行う。特に、バイヤー等には、商談にあたってネックになった点（価格、商流、品質、新規性など）を聞き取ること。

なお、事業の詳細については、事務局との相談の結果、変更する場合がある。

5 事業報告

4に関する実施報告書を作成すること。

報告書には、商談結果（成約金額等）と商談のフォロー内容をとりまとめるとともに、今後の輸出拡大に向けた詳細な提言を盛り込むこと。

6 履行期間

契約締結日から2025年3月31日まで